



決算特別委員会 ● 市長質疑での質疑と答弁 ●



9月16日に設置された決算特別委員会は、3つの分科会に分かれて審査を行いました。9月28日に行われた市長への質疑の中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

第1分科会

平成20年度決算の特徴は？

Q1 平成20年度の決算は、北橋市長が本格的に組んだ予算に対する決算と言える。そこで、今回の決算の特徴について、前市長時代と違う点を尋ねる。

A1 今回の決算を前市長の最後の年である平成18年度の決算と比較すると、投資的経費は26.8パーセント減少している。また、市債残高が19年ぶりに減少したことも特徴である。

一方、昨年度から、子育て、教育、身近な道路や公園といった市民生活密着型公共事業への重点化にも取り組んだ結果、それらの事業が投資的経費全体に占める割合は、平成18年度よりも8.5ポイント上昇し、28.5パーセントとなった。

このように、投資的経費については、財政の健全化に努めつつ、地元の中小企業が受注しやすい公共事業への転換を図った点が特徴ではないかと考えている。

本市の地域防災計画を見直すべきでは？ — 職員の参集場所について —

Q2 大規模な災害等が発生したときにこそ、市の職員が最寄りの区役所等に参集して対応するよう地域防災計画を見直すべきではないか。

A2 本市の地域防災計画では、災害対応に当たる職員は勤務地に参集し、あらかじめ定められた役割分担により組織的に対応することを基本としている。

具体的には、災害対策本部は、医療、保健衛生、水道、病院、港湾空港など区で所管していない専門的な業務を担当する本庁をもとにした対策組織と、区役所をもとにした区対策部で構成している。これは、通常の組織を基本として災害活動に当たることで系統だった活動ができ、効果的な防災対応につながるからである。

このことから、最寄りの区役所等に参集する方式が、必ずしも効果的な防災対応に結びつくものではないと考えている。

第2分科会

環境モデル都市として他都市をリードしよう — 照明灯をLED照明に —

Q1 本市が環境モデル都市として他都市の先を行くために、道路や公園の照明灯を現在の照明より消費電力が少なく、寿命も長いLED照明へ切り替えてはどうか。

A1 LED照明は、価格が割高であるなど、全面的に導入するにはいくつかの課題があるが、消費電力が少なく、二酸化炭素の排出量が削減されるため、環境モデル都市の推進において有効な取り組みの1つである。

そこで、昨年度から公園にLED照明を試行的に設置し、今年度は、道路においても、歩道など低照度で使用可能な場所で試行的に設置することとしている。

LED照明は、新たな都市の照明として大変魅力のあるものであり、試行の状況や価格等の動向を踏まえ、導入に向けて検討を進めたい。

生活保護の適正な実施のために・・・ — 門司区での孤独死の検証を —

Q2 門司区で39歳の男性が餓死した事件では、この男性が生活保護の相談に福祉事務所を訪れた際、手持ち金の確認も、最低生活費や保護の要件の説明も行われず、面接時間もわずか30分であったという。このような事件を繰り返さないために、事件の検証をすべきではないか。

A2 この男性については、改訂した相談業務手引書に沿って対応しており、本人に申請の意思がないことを確認している。また、年齢も若く、相談当時、病気の訴えもなく、求職活動を行っており、ライフラインも供給されていたことから、フォローが必要とは判断しなかったものであり、改めて検証する考えはない。

今後とも、保護の必要な方に保護の漏れがないように、保護の必要でない方が漫然と保護を受けることがないようにしっかり取り組むことで、市民に信頼される生活保護行政を推進していきたい。

第3分科会

黒崎副都心のにぎわいづくり — その取り組みと効果 —

Q1 昨年7月に中心市街地活性化基本計画の認定を受け、黒崎地区では、さまざまなイベントによるにぎわいづくりの取り組みが盛んになっている。これまでの取り組みは商店街にどのような効果をもたらしたのか。

A1 9月6日の「黒崎96（クロ）の日」と9月11日の「黒崎ナイトバザール」では、通常の5倍近い約2万人の人流で大いににぎわい、商店街関係者からは、「従来少なかった若い買い物客や家族連れが多く見られた」等の声が数多く寄せられた。

また、商店街の飲食店は、おおむね大幅な売り上げ増となった。

さらに、物販店については、特別セールの実施など、販売の促進に工夫を凝らした店では、大きく売り上げを伸ばしたところもあったと聞いている。

今後とも、地元と一体となって、魅力あふれる商店街づくりに努めていきたい。

新卒者の就職支援はどうなってるの？

Q2 厳しい経済情勢が続く中、就職の内定を得ずに卒業する高校生や大学生が多くなると思われる。市は、新卒者の就職問題にどのように取り組むのか。

A2 北九州地域で学んだ学生や地元出身の学生などが、地元の企業に就職し、本市に定着することは、経済活力の維持や少子化対策の観点からも、大変重要である。

本市では、積極的な企業誘致等により若者の地元への就職の促進に取り組んでいる。

また、地元企業を対象としたセミナーの開催等により、地元企業の採用力の向上などにも取り組んでいる。

今後とも、ハローワーク等との共催による新規高卒者就職相談会の開催等により、新卒者を中心とする若者の就職を支援していきたい。

常任委員会の主な活動状況(平成21年6月18日～平成21年10月6日)

委員会名 (開催回数)	案 件	委員会名 (開催回数)	案 件
総務財政委員会 (7回)	【議案の審査】 ●住居表示を実施すべき市街地の区域及び方法について ほか6件 【請願・陳情の審査】 ●市の会計方式の見直しについて ほか5件 【報告】 ●北九州市自治基本条例検討委員会の最終報告について ほか5件	保健病院委員会 (5回)	【議案の審査】 ●北九州市国民健康保険条例等の一部改正について ほか8件 【請願・陳情の審査】 ●適切な保護行政の実施について ほか3件 【報告】 ●医療センター経営分析等業務の報告について ほか3件
建築消防委員会 (5回)	【議案の審査】 ●北九州市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について ほか2件 【請願・陳情の審査】 ●バス路線の新設及びバス停の設置について ほか3件 【報告】 ●北九州市都市計画マスタープラン八幡西区構想について ●市街化調整区域の地区計画に関する方針・運用基準の策定について ほか4件	教育水道委員会 (4回)	【議案の審査】 ●北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について ほか2件 【報告】 ●新型コロナウイルス感染症に関する教育委員会の対応について ●北九州市子どもの未来をひらく教育プラン(素案)について ●「地上デジタル対応テレビ等整備事業」における契約方法について ほか1件
環境建設委員会 (5回)	【議案の審査】 ●北九州高速道路整備計画の一部変更に関する同意について ほか3件 【請願・陳情の審査】 ●市道折尾22号線の拡幅等について ほか1件 【報告】 ●7月24日からの豪雨による河川・下水道・道路の状況について ほか4件	経済港湾委員会 (4回)	【議案の審査】 ●北九州市中央卸売市場業務条例の一部改正について ほか7件 【請願・陳情の審査】 ●貴山ろく一帯の農地転用の制限について ほか1件 【報告】 ●北九州市食育推進計画の策定について ほか6件

※案件は、主なものを掲載しています。また、特別委員会の活動状況は、次回掲載します。

可決した意見書・決議

市議会では、市政や市民の皆さんの生活にかかわりの深い事柄について改善等を求める等のため、意見書の国等への提出や決議を行っています。

今定例会では、20件の意見書・決議が提出され、うち15件を可決しました。その件名をご紹介します。

- 大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書
- ヒブワクチンの早期定期予防接種を求める意見書
- 子どもの医療費助成制度の創設を求める意見書
- 奨学金制度の抜本的な改善を求める意見書
- 安心社会の実現のために平成22年度予算の確保を求める意見書
- 女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書
- 障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書
- 高速道路の無料化案の再検討を求める意見書
- 子ども手当の支給を慎重に行うことを求める意見書
- 歩居基本法の制定を求める意見書
- 日米間におけるFTA(自由貿易協定)に関する意見書
- 地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書
- 地方分権改革推進計画の策定と新分権一括法の制定を求める意見書
- JAL便及びJTA便の北九州路線の存続を求める決議
- 天皇陛下御即位20年を祝す賀詞

請願・陳情の審議結果

- 請願「めかり会館の存続について」 (不採択)
- 陳情「火災損害額の算定に係る消防経費の算入について」 (不採択)

このほか、請願19件、陳情42件が継続審査になりました。

ニューウェーブ北九州へエール！ 市議会議員応援団結成！



去る10月1日、ニューウェーブ北九州のJ2昇格へのゴールに向けてサポートしようと北九州市議会の40歳以下の議員11人が応援団を結成しました。その名も「北九州市議会議員U-40(アンダーフォーティ)イレブンの会」。結成当日は、同クラブの横手社長(写真の前列左から3人目)もかけつけてくれました。J2昇格後のさらなる大きな夢をも目指して活動します。本城競技場で応援姿を見かけたときは、いっしょに大きな声をかけましょう。「絶対 昇格 ニューウェーブ北九州!!!」

※ニューウェーブ北九州は10月2日、来季からチーム名を「ギラヴァンツ北九州」へと変更することを発表しました。

市議会の会議の様子を傍聴することができます。問い合わせ先は、市議会事務局総務課(☎582-2621)です。



□本紙は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。□全世帯配布□0930001F